演題名（MSPゴシック（12pt）、左寄せ）（以下、行間は1.0行）

第24回日本血液代替物学会年次大会　要旨テンプレート（A4 １枚）

（１行あけ）本文の字体はすべてMS明朝（11pt）

発表者名（発表者に○印）　　例：○**萩沢　康介**1、木下　 学2（左寄せ）

（１行あけ）

所属名　　例：1@@大学医学部、2XX大学医学部（左寄せ）

連絡先　　例：bas007@ndmc.ac.jp（左寄せ）

（１行あけ）

緒言　重症外傷では時に大量出血を合併することがある。これに対する初期治療としては、まず細胞外液量を補充して体循環を安定させることを目的 に、晶質液やコロイド含有液を投与する。さらに出血量に応じて、濃厚赤血球輸血を適宜追加することが多い。このような病態では、出血部位局所で 止血凝固系が活性化・消費されると共に、全身的には大量輸液・輸血（赤血球輸血）により凝固因子や血小板が相対的に希釈されるため、凝固障害 が生じ易出血性となる1)。

……

実験　体重2 kg前後の家兎で一方の大腿動脈にカニュレーションを施し、脱血用と動脈圧測定用とした。対側の大腿静脈にも同様のカニュレーショ ンを行い、輸液および輸血，薬物投与用とした。……

結果と考察　　脱血・輸血により血小板減少（＜5×104/μL）と耳介出血時間の顕著な延長（＞10min）を認めたが、……

余白 上25mm、下25mm、左25mm、右25mm

結論　H12-ADP-リポゾームが外傷性大量出血時の輸血に伴う血小板減少病態において、出血部位に集積して血小板機能を代替し、止血制御に直接貢献していることを確認した。

文献

1) Hagisawa K, Kinoshita M, Miyawaki H, Sato S, Miyazaki H, Takeoka S, et al., *Crit Care Med.* **2016**, *103*, 2184.